

例会報告 Rotary



ロータリーは機会の扉を開く

第2637回例会 令和3年4月9日
財団補助金事業説明

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 塚 和信
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 下屋 勝比古
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 榎坂 純一

<会長の時間>

脱炭素社会の実現に向けて、各産業界では技術革新に加速が掛かっています。自動車産業では、電気自動車へ期待が高まっていますが、完全に置き換えられるようになるには少し時間が掛かりそうです。インフラ側では、充電スタンドの整備が課題であり、EV側では、航続距離の短さ、充電時間の長さ、安全面の不安、コストの高さなどが課題となっています。そのほとんどが電池（リチウムイオン電池）に起因しています。今日は、その電池についてお話をしたいと思います。



リチウムイオン電池は、正極と負極の間に電解液があり、両極の間をリチウムイオンが移動することで充放電を行っています。その両極の材料により、電池の性能が変わってきます。また、電解液は一般的に可燃性の有機溶剤が用いられており、これが火災事故の原因となっています。正極には、ほとんどがニッケルマンガンコバルト酸化物（NMC）かニッケルコバルトアルミニウム酸化物

（NCA）のどちらかのコバルトを含んだ材料が使用されます。コバルトには電池の安定性を高め、正極部分の腐食を抑えて発火を防ぐ効果があるとともに、充電速度を上げる働きももっています。しかし、コバルトはレアメタルで供給量が限られ、需要拡大で奪い合いになる懸念もあります。EV価格の3分の1が電池で占め、その電池の正極の部材が2割に当たります。そのため自動車産業は、コバルトを使わないコバルトフリーの電池開発に力を入れています。最近になって、正極材にリン酸鉄リチウム（LFP）を使うリチウムイオン電池の採用が急速に広がっています。レアメタルでない鉄がベースなので安く、資源不足もありません。充電速度も速く、満充電で放置しても劣化しなくて、むしろ100%充電での使用が推奨されています。何よりも耐久性がずば抜けて高く寿命も長い。加えて、燃焼の原因となる酸素を放出しないので発火することもなく安全です。弱点としては第1に、エネルギー密度が小さいということです。つまり、一定の値の電池の中に、どれだけエネルギーを詰められるかということで、航続距離に関係してきます。しかし、最近この問題が少し改善されてきました。セル→モジュール→パックという階層をセルのサイズを大きくしてセル→パックとすることで、パッケージの中の密度が高くなりました。第2の弱点は、低温での性能が低下するということです。しかし現在ではニッケル箔をヒーターとして使った、コンパクトな常時温度管理システムを搭載し、性能が安定する60℃に保つことにより高速充電も可能となりそうです。最新の中国BYDの「漢」やテスラの「モデル3 ロングレンジ」は、リン酸鉄リチウム電池を搭載し航続距離を600km、580kmと伸ばしています。

そして、EV用として期待され開発中の電池が「全固体電池」です。全固体電池とは電解液を使わず電極間を個体で繋ぐ電池のことです。電解液を使わないため発火のリスクが少なく、幅広い温度域で安定した性能を発揮することが期待されます。したがって、大きな電力で充電する際発火のリスクが少ないので超高速の急速充電が可能になります。そして、一番のメリットは既存のリチウム電

池よりエネルギー密度が高い、つまり、小さな電池に大きな電力を蓄えることが出来ると期待されています。また、電極や電解質の劣化が起こりにくく、長寿命の電池が出来ると期待されています。

このような技術開発により、現在の電池コストは150\$/kwhですが、2030年前後には100\$/kwh以下にする計画です。そして「ミリオンマイルバッテリー」という100万マイル（約160万km）走行できる長寿命電池の開発を目指しています。

モデル名	価格	バッテリー容量	航続距離
スタダードレンジ	429万円(-82万円)	54kwh	448km
ロングレンジ	499万円(-156.2万円)	75kwh	580km

<幹事報告>

◎濃飛グループガバナー補佐より

・最終訪問について 6月11日（金）

※ 次期AG同伴にて

<例会変更>

高山... 5月13日（木）は、皐月例会のため
18:30~ 洲さきに変更

6月17日（木）は、新緑家族例会のため

18:30~ ホテル高山アソシアリゾートに変更

<受贈誌>

高山RC（会報）、高山中央RC（会報）、美濃加茂RC（会報）、不破RC（会報）

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
27名	-	27名	36名	75.00%

<本日のプログラム>

次期財団補助金事業説明

会長エレクト 鴻野 幸泰

3月13日、PETS（会長エレクト研修セミナー）がオンラインで開催されました。ロータリーの歴史史上PETS

がオンラインで開催されることは初めてで、私自身もオンラインでの会議等は初めての経験でした。私は家族の手を借りて何とか受講する事が出来ました。飛騨地区の次期会長さんたちは高山RCは平瀬市兵衛さん、中央RCは大原誠さん、下呂RCは龍康洋さんです。

次年度RIのテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」です。浦田ガバナーエレクトによる次年度地区方針は「つねに超私の奉仕を胸に」です。このような事を頭において、来年度地区財団補助金を活用した事業を考えています。次期幹事、実行委員長、副実行委員長、会計の方よりそれぞれ説明頂きます。



例会報告



副幹事 向井 公規

当クラブと、高山地区手をつなぐ育成会」の共催、並びに「やまゆり連絡協議会」および「高山市社会福祉協議会」のご協力により、10月31日(日)場所は飛騨・世界生活文化センターにおきまして、『手を手をつなごうの会(飛騨地区障害者フェスティバル)』を補助金事業として開催したいと思います。

事業名の由来は、「手をつなぐ育成会」並びに、ロータリーソングである「手につないで」を組み合わせて考えさせて頂きました。共催および協力団体の簡単な説明をさせて頂きますと、共催頂く「手をつなぐ育成会」というのは主に知的障害を持った方の保護者会となります。また、ご協力頂く「やまゆり連絡協議会」というのは、飛騨慈光会の5施設の保護者会となります。

また、なぜ障害者の方、そして親御様達との事業を行うと決定したかの経緯といたしまして、高山市の「高山市障害者福祉総合計画」では、中長期的な視野で、障害者が心身の状態に応じ生涯に渡り【永続的にサービスを受けられる環境】【地域で支え合いながら積極的に社会へ参加し自立できる環境】そして、【親亡き後でも障害者の方が安心して生活できるための環境】を目的に策定されております。そこで当クラブでは、先ほどの資料の「目的」にありますように、障害者や障害者のご家族が参加できる形を通し、高山西ロータリーメンバーとの交流はもとより、障害者のご家族同士の交流や、障害者の方々の自信と意欲の向上に努めたく、このような事業を立案いたしました。

現在月に一度「手をつなぐ育成会」の方や「高山市社会福祉協議会」の方を交え打ち合わせをしておりますが、まだ確定してない事項もございますが、この後、実行委員長の田中武さん、副実行委員長の田近さん、垣内さん、塚本さん、そして予算に関しましては米澤さんより説明がございますので、よろしくお願ひいたします。

最後になりますが、昨年よりコロナ禍でイベントが全てキャンセルになっているので、来期の財団事業こそは無事実施でき、皆様のお力添えを頂く事となりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

実行委員長 田中 武

『手を手をつなごうの会(飛騨地区障害者フェスティバル)』は「障がい者の方々が気兼ねなく安心して参加できるイベントを開催し、芸術や催事等に触れる場を作ります」「障がい者の保護者の方々とロータリーメンバーが交流する事で、相互理解を図ります」以上のような凄く目的で私達ロータリアンとしても必ず成功させるためには全員参加し、高山地区手をつなぐ育成会、高山市社会福祉協議会、やまゆり連絡協議会、協力し合い心から楽しかったと言える様なイベントにしたいと思ひます。実施内容及び役割は、会長エレクト：鴻野 幸泰、副幹事：向井 公規、実行委員長：田中 武、ステージ関係：田近 毅、縁日関係：垣内 秀文、作品関係：塚本 直人、会計：米澤 久二 です。

以上のようなかたちで進めて行きたいと思ひますので、全員の協力を宜しくお願ひ致します。



副実行委員長 田近 毅

コンベンションホールでのステージ関係を担当します。

午前の部として①太鼓(童心) 30分
②イリュージョン(サイキックナオ他) 30分
午後の部は③映画 60分、④表彰式 20分 を計画しています。

副実行委員長 垣内 秀文

縁日担当の詳細を説明させて頂きますと事業開催中は常時運営となっております、内容としまして一本釣り抽選会、駄菓子屋等々を行う方向で検討しております。設置設営につきましては業者と調整しますが、当日運営につきましては我が西クラブの会員様にご協力をお願いすることになります。

また、縁日会場でタイムスケジュール調整も必要となつてきますがバルーンアートの演出、広場ではミニSLを走らせて参加者に楽しんで頂けるよう計画しています。

いずれにしてもこの事業を成功裏するためには、会員全員の皆さんの力が不可欠です、重ねてご理解ご協力の程お願ひ申し上げます。



副実行委員長 塚本 直人

来年度の財団補助金事業の展示担当になった塚本です。昨日第5回実行委員会が行われ、展示コーナーの運営について、保護者代表の方々と打ち合わせをしました。応募要項については保護者会から発信していただくこととなっております。作品の展示場所は飛騨世界生活文化センター内に素晴らしい展示場があり、先週、実行委員会の皆さんと確認いたしました。作品数や大きさ等が確定していないのでレイアウト、展示方法は未確定ですが、美術館の向井さんが幹事としてご協力していただけたのでとても心強いです。出品者、保護者の方々に喜んでいただけるように準備します。

会計 米澤 久二

プロジェクト予算は3年前のロータリー財団への年次寄付額(225ドル/人)を基礎に①財団からいただける補助額120万円と②それに見合うクラブ負担金30万円を合計すると150万円となり、これが事業規模となります。

クラブ負担金を特別会計から引き出すにしても皆様のニコニコボックスへの寄付をお願いするしかありません。どうぞ事業成功のためにもニコニコへの寄付をお願いします。



例会報告

<ニコニコボックス>

●堺 和信さん、下屋 勝比古さん

綺麗な桜満開ですが明日は雪が舞うような予報です。体調管理と重ねて感染対策には注意しましょう。さて今日は次年度補助金事業の説明です。次年度の目玉事業ですので皆様のご協力あつての事業になります様積極的な議論をして頂きます様お願いします。

●鴻野 幸泰さん、向井 公規さん

本日は次年度財団補助金事業の説明でお時間をいただきます。コロナ禍で相次いでイベントが中止になる状況下ですが、準備をしっかりと進め皆様にもご参加及びご協力を願いたいと思いますのでよろしくお願いたします。

●内田 幸洋さん

誕生日プレゼントありがとうございました。75歳になってしまいました。75歳になれました。

●挾土 貞吉さん

先日の結婚記念日のお祝いケーキありがとうございました。女房曰く「お祝いではなく苦しみばかりです」に返す言葉なくニガ虫でしたが一緒にいた孫たちはニコニコして食べてくれましたのでホッとニコニコに喜出します。

●鴻野 幸泰さん

本日お弁当を作らせていただきました。いつも有難うございます。

●井口 大輔さん

4/4に雨予報の中行われたはぐるまコンペで晴れて優勝させて頂きました。初参戦の方は必ずハンデ36からスタートらしいので皆様もぜひ出てみて下さい。スコアはいつも通りですがそれなりにアンダーです。

●田中 晶洋さん

経済産業省の健康経営優良法人2021にブライトスタッフが認定されました。社員の健康づくりのために色々な取り組みをして社員も会社も健康な経営を目指します。

●米澤 久二さん、平 義孝さん

桜満開、とても今が一番きれいな時です。今日の例会の後、桜を見ながら帰りましょう。

●斎藤 章さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん、塚本 直人さん、長瀬 達三さん、榎坂 純一さん、杉山 和広さん、堀 幸一郎さん

現在サクラが満開です。来週の春の高山祭まで花びらが残る事をいのっています。コロナウイルスには充分気を付けて春の日射しをしっかりと楽しみましょう！



『手に手をつなごうの会（飛騨地区障害者フェスティバル）』は飛騨・世界生活文化センターを会場として計画しています。

映画上映およびステージ会場となる「コンベンションホール」



「コンベンションホール」のエントランス付近スペースで縁日やバルーンアートを予定



ミニSLはふれあい広場で走ります



作品展示はミュージアム飛騨企画展示室にて

